

## ◎はじめにお読みください。

1. 本紙に記載された内容は製品の仕様、付属品の変更によって変更される場合がございます。  
記載事項は正確を期すべく細心のチェックを行っていますが、内容の正確性については保証致しかねます。当社は予告なしに内容を変更する権利を有します。
2. 本製品の耐荷重は開発時試験環境下での確認であり、使用時全ての状況での動作を保証するものではありません。
3. 本製品の組み立て、調節には付属品以外の工具が必要になる可能性がございます。  
本紙内には付属しない製品の画像や用語を記載することがあります、付属品については本紙の付属品欄に記載がある物のみとなります。
4. 組み立て時は素手ではなく滑り止め / 保護用の手袋を使用いただくことお勧めいたします。
5. 各種部品には潤滑用のグリスが塗られています。手に付いたら油落とし石鹼等で洗い流してください。
6. 他社登録商標・商標をはじめ、本紙に記載されている会社名、システム名、製品名は、一般的に各社の登録商標または商標です。

最後に、本製品をご購入いただきましてありがとうございます。本マニュアルの最新版は弊社HPの本製品ページに掲載されております。右上のVerをご確認の上、弊社HPに掲載されているVerの方が新しい場合は、そちらをご確認の上、組み立てを行ってください。

## 安全上のご注意(必ずお守りください)

あなたや他人への危害や財産への損害を未然に防ぐため必ずお守りいただくことを記載しております。

**危険** 死亡または重傷を負う恐れが大きい内容です。

**警告** 死亡または重傷を負う恐れがある内容です。

**注意** 軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある内容です。

!  
気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。

!  
してはいけない「禁止」の内容です。

!  
必ず実行していただく「強制」の内容です。

## 免責事項

お客様または第三者がこの製品の誤使用や使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた直接的、間接的損害について、法令上の賠償責任が認められる場合を除き当社は一切その責任を負いませんので予めご了承ください。

## 製品仕様

シリーズ名	Monitor Arm Basic
対応規格	VESA 75x75mm / 100x100mm
対応モニタサイズ	最大 32 インチまで
耐荷重	最大 8kg まで
取付方式	クランプ方式 / グロメット方式
取付可能天板	クランプ: 20 ~ 45mm グロメット: 20 ~ 45mm
取付必須スペース	幅: 105mm / 奥行: 110mm
可動範囲	回転: 180° (±90°) パン: 180° (±90°) チルト: 180° (±90°)
本体サイズ	約 607x115x703 mm (W x D x H)
重量	約 3.3kg
素材	スチール / アルミ / ABS
保証期間	1 年間

## サポート / 連絡先

## 販売元

株式会社アーキサイト

〒110-0006  
東京都台東区秋葉原 5-9 明治安田生命秋葉原ビル  
URL: <http://www.archisite.co.jp>  
サポートダイヤル: 03-6859-0284  
受付時間 10:00~12:00, 13:00~17:00  
(弊社指定休日: 年末年始・土日・祝祭日を除く)

## ! 危険

- ◎ 本製品を火の中、電子レンジ等に入れたり、加熱したりしないでください。事故や破損の原因となります。
- ◎ 本製品の分解、改造を行わないでください。事故や破損の原因となります。
- ◎ また、分解、改造の痕跡がある場合、保証期間内でも交換、修理対応をお断りさせて頂くことがあります。事故や破損の原因となります。

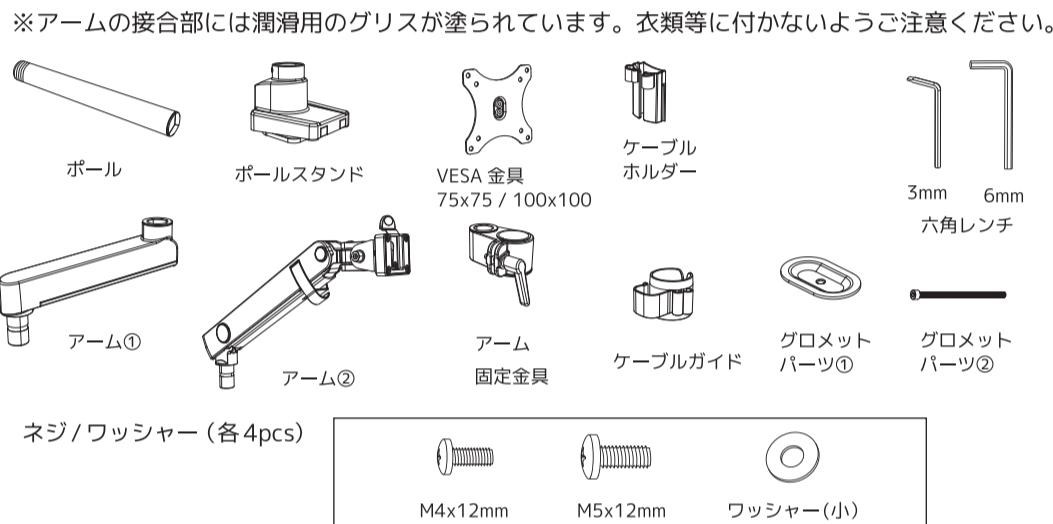
## ! 警告

- ◎ 本製品に強い衝撃や圧力を与えないでください。与えてしまった場合は、一旦使用をやめて各部に破損がないかを確認してください。そのまま使用を続けると破損や事故の原因となります。
- ◎ 水分や湿気の多い場所では本製品は使用しないでください。
- ◎ 液体に本製品を入れたり、濡らしたりしないでください。
- ◎ 濡れた手で本製品に触らないでください。
- ◎ 小さなお子様の手の届く場所に本製品を設置・放置しないでください。
- ◎ 本体にほこりが付着した場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- ◎ 本製品を取り付けや設置に関しては本マニュアルに記載されている通りに行ってください。
- ◎ また、取り付けた後は、そのままデスクを動かさないでください。
- ◎ 本製品を振動のある場所で使用しないでください。

## ! 注意

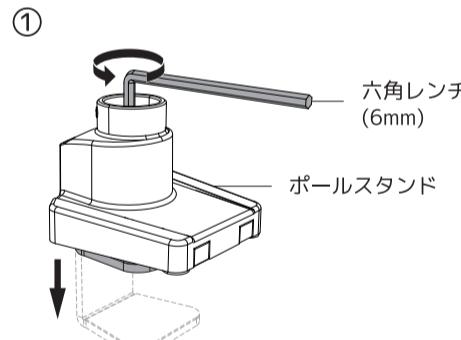
- ① 本製品の耐荷重は8kgです。8kgを超える機器を取り付けないでください。
- ① 本製品の対応インチは目安です。耐荷重を確認し、8kg以下の機器を取り付けてください。
- ◎ 以下のような場所で使用、設置をしないでください。破損や故障の原因となります。
  1. 強い磁界が発生するところ
  2. 火気の周辺や熱のこもるところ
  3. 水や水場の近辺
- ◎ 有機溶剤で本製品を拭かないでください。
- ◎ ネジや各種部品は接続の方向を確認した上で差し込んでください。
- ① ネジ、ストッパーは付属の部品を使い、しっかりと固定してください。
- ① ネジやストッパーは時間経過とともに緩みがおきます。定期的に固定がされているかを確認してください。
- ◎ 取り付けるモニタの重量バランスによってはモニタを縦で使用する時に重量が重い方に傾く可能性があります。

## 1 付属品一覧

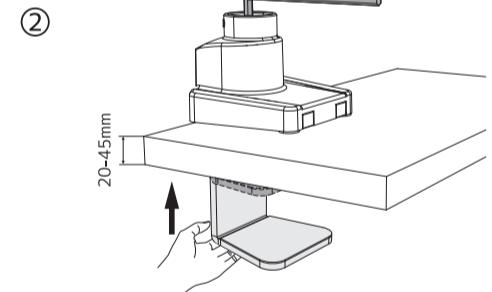


## 2a ポールの組み立て / デスクへの固定方法 (クランプ方式)

下図をご確認の上、下記の手順で組み立て、固定を進めてください。(①~⑤)



① ポールスタンド上部にあるネジに、付属の6mmレンチを入れ、反時計回りに回してクランプ部分を開いてください。

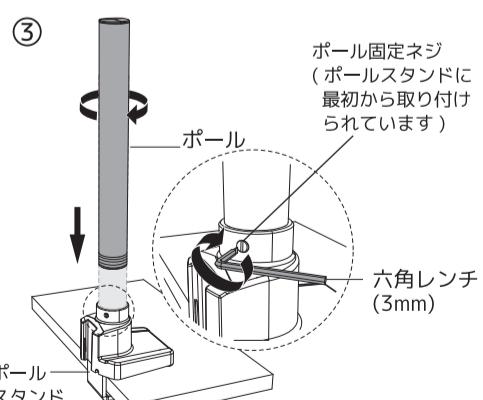


② ポールスタンドでデスクを挟み、先ほどとは逆の時計回りに回し、ポールスタンドをデスクに固定してください。

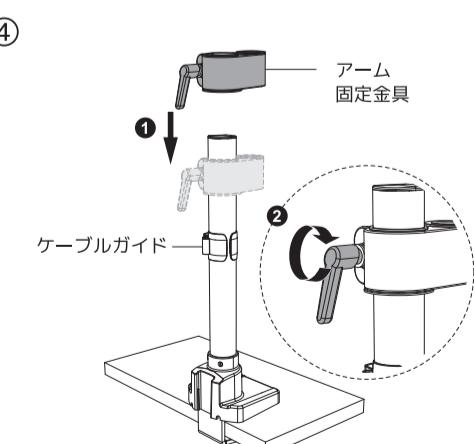
## 対応の厚さ / 幅 / 奥行

厚さ: 20~45mm  
幅: 105 mm  
奥行: 110mm

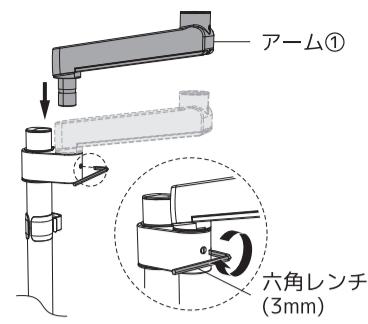
※クランプをデスクに固定するには左記のスペースが必要です。取り付けの前に必ずご確認ください。



③ ポールスタンドにポールを差しこみ、時計回りに回して固定してください。  
固定が完了したら付属の3mmレンチでポール固定ネジを時計回りに回して、ポールスタンドとポールを更に固定してください。  
ポールがうまく入らない場合は、一旦ポール固定ネジを反時計回りに回し、ポールが入るスペースを開けてから取り付けてください。

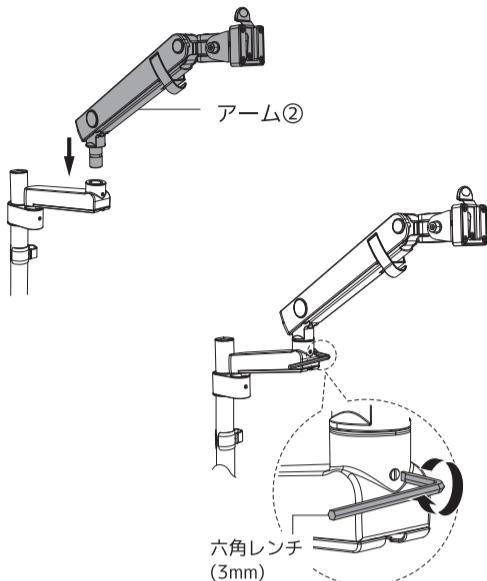


④ 次にケーブルガイド→アーム固定金具の順にポールに差しこみ、アーム固定金具の横のレバーを時計回りに回し、ポールにしっかりと固定してください。



⑤左図のようにアーム固定金具にアーム①→アーム②の順番で接続をしてください。

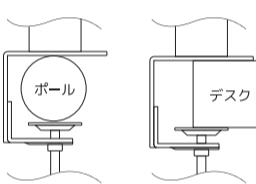
接続をしたら3mmレンチを使用し、アーム①とアーム固定金具、アーム①とアーム②を固定してください。  
※この作業を行わないと、それぞれのアームやアーム固定金具との固定ができず危険です。必ず行ってください。



各種ネジは強い力でしっかりと締め付け、固定してください。  
また、定期的にネジの緩みがないかを確認し、緩んでいる場合はネジの締め直しを行ってください。

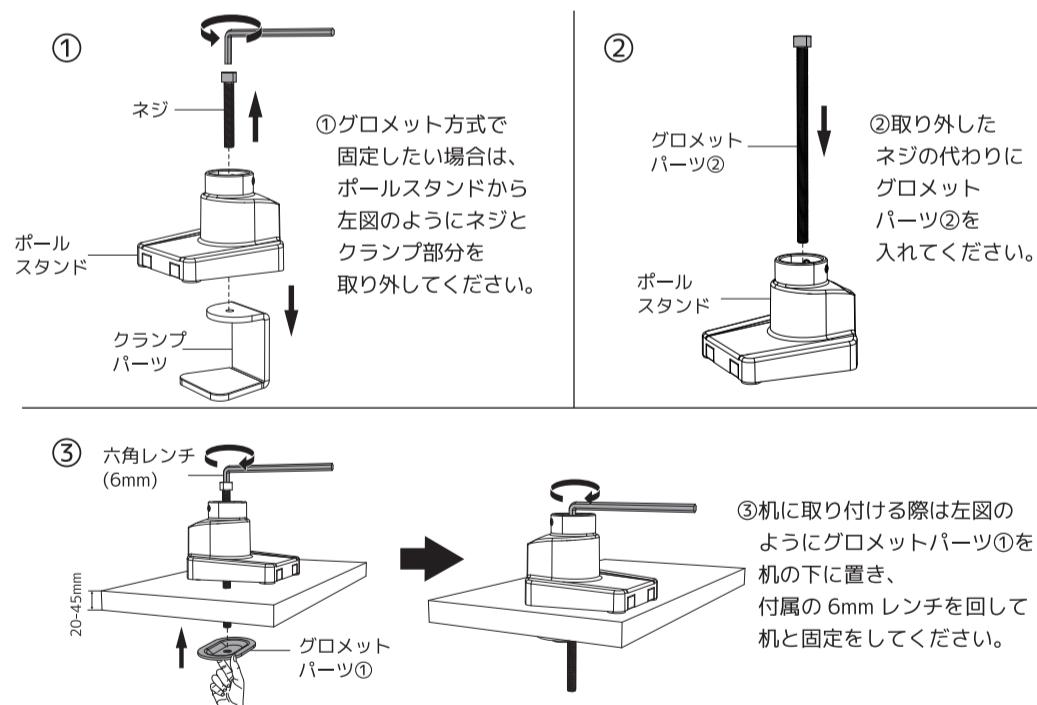
### ⚠ 取り付けに関しての注意

- アーム固定金具の締め付けが十分か確認してください。また、アームの取り付け方向は常に設置するデスクの上にアームがあるように取り付けてください、デスク外にアームが飛び出すような設置は決して行わないでください。
  - 取り付けの際はポール部分が垂直になるように取り付けてください。  
ポールが傾いている等、垂直以外の角度での取り付けは非常に危険です。
  - デスクに取り付ける際はしっかりとクランプの奥までデスクを挿し込み、隙間がないことを確認してから取り付けてください。
- 右図のようなデスクには決して取り付けないでください**
- 取り付けるデスクの天板にクランプが隙間なく収まらない
  - クランプが一番奥まで差し込めない
  - クランプの内面の上側、下側がデスクと全て接しない

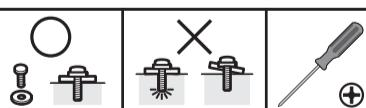


### 2b ポールの組み立て / デスクへの固定方法 (グロメット方式)

下図をご確認の上、下記の手順で組み立て、固定を進めてください。(①～③)

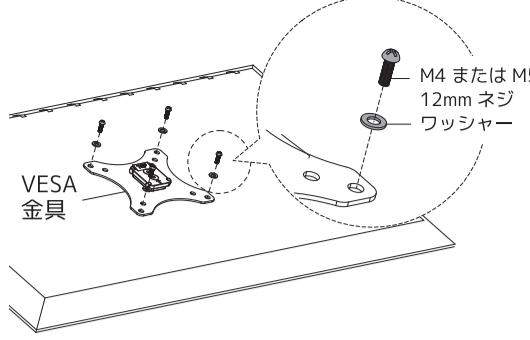


### 3 VESA金具取り付け方法



下記の1-4の注意事項をご確認の上、VESA金具固定ネジが上にくるようにして、VESA金具を取り付けてください。お使いのモニタに合わせて、ネジの径(M4またはM5)をお選びください。

- ネジは75x75/100x100モニタに対応するそれぞれの一般的なネジを付属しております。  
付属のネジが合わない場合は、ネジの強度に十分注意の上、市販の対応するものをご購入ください。
- 使用するネジはご使用されるモニタによって異なります。取扱説明書を確認したりメーカーに問い合わせる等、取り付け可能なネジの情報を入手してから取り付けてください。
- 本製品はVESA取り付け面が平らなモニタ用に作られております。  
曲面モニタ等、VESAの取り付け面が平らではないモニタは使用できないことがありますので、お取り付け前に取り付け面をお確かめください。
- ネジの取り付けが強すぎるとモニタを破損し、弱すぎると固定がしっかりできず脱落する恐れがあります。また、取り付け時のモニタやネジの破損については弊社は一切の責任を負いかねますので、取り付け時は慎重に作業をしてください。

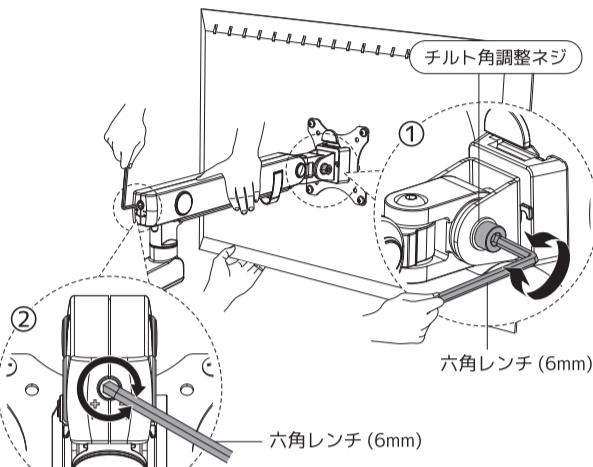


- 左図を確認の上、VESA金具の上下を間違えないようにしてモニタに取り付けてください。
- 使用するネジは付属品の中からお使いのモニタに合わせてM4またはM5のものを選択してください。
- 取り付け時は必ず付属のワッシャーをご使用ください。

製品の説明書に記載された使用方法および注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障の場合は弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

### 4 アームの固さ調節方法

モニタを取り付ける前と後には、必ずチルト角のネジ調節を行ってください。  
※図はモニタ取り付け後のイメージです。



- ①本製品の関節部分は左図のチルト角調整ネジのみ調節が可能です。(モニタを支える部分です)  
基本的には締める形になります

モニタを取り付ける前に(もしくは取り付けた後、前に傾くようであれば)取り付けたモニタが傾かないよう六角レンチ(6mm)を使用し、しっかりと締めつけてください。  
※取り付けたモニタが27インチ以上、4~5kg以上の場合は、基本的にネジを締める必要があります。

締め付けが緩いとモニタが急に倒れる可能性がありますのでご注意ください。

- ②取り付けたモニタが上がる・下がる場合は左図のスプリング圧の調節を行ってください。

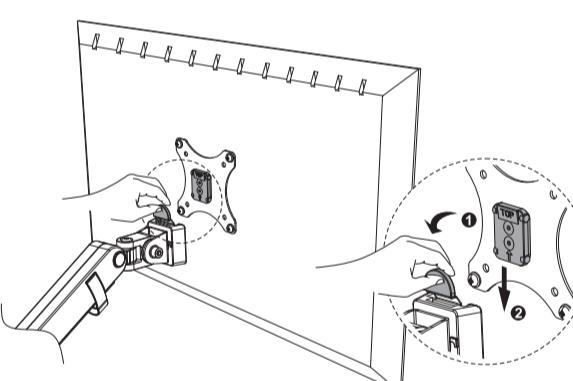
### ⚠ スプリング圧の調節

(取り付けたモニタが上に上がる、もしくは下に下がる場合)

- |   |   |
|---|---|
| プラス (+) 方向に回す<br>(時計周り)<br>→取り付けたモニタが下に下がる場合の操作 | マイナス (-) 方向に回す<br>(反時計周り)<br>→取り付けたモニタが上に上がる場合の操作 |
|---|---|

### 5 モニタの取り付け方法

VESA金具を固定したら、下図をご確認の上、アームにモニタを取り付けてください。

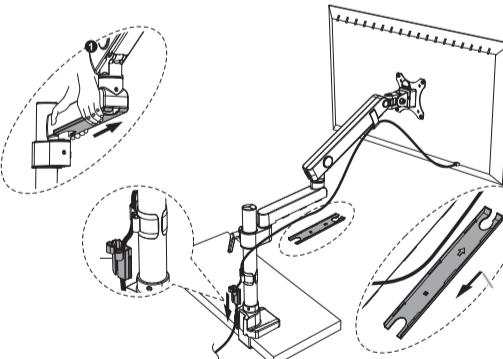


- ①本作業は必ず2人で行ってください。  
1名がアーム側の取り付け金具のストップバー部分を左図のように手前に引っ張り、VESA金具が入るスペースをあけてください。

- ②もう1名がモニタの縁を持ち、(画面を掴むとモニタが破損する可能性があります)  
アームの取り付け部分にVESA金具のレール部分を合わせ、金具に指や手を挟まないよう注意しながら上からスライドさせる形でモニタを取り付けてください。  
最後まで挿し込めばストップバー部分が戻り、モニタが固定されます。

### 6 ケーブルマネジメント

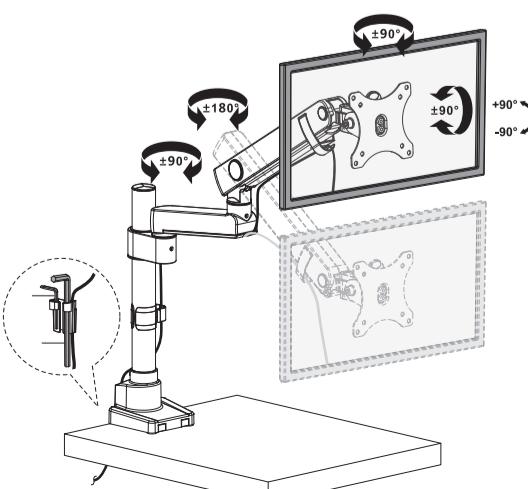
ケーブルの収納は、下図を確認の上、下記の手順でご使用ください。



- ①ケーブルガイド部分を左図の手順で取り外し、ケーブルを収納してください。  
②取り外した時とは逆の手順でケーブルガイドを取り付けてください。  
取り付ける際は無理な力をかけず、ゆっくりと行ってください。  
※無理な力がかかるとスライドが破損する可能性があります。

### 7 アームの可動域 / 各部説明

アームの可動域、レンチホルダーに関しては下図をご確認ください。



### ⚠ アームの可動について

- 本製品はモニター取り付け後の可動がスムーズなのが特徴の製品です。  
仕様上、関節部分を締めて可動の固さを調節することや、決まった場所で固定することはできません。